

学校法人 龍澤学館 役 員 名 簿

(令和2年6月1日現在)

理事 定員 7 ～ 9 名 現員8名 欠員 0

区 分	氏 名
理事長	龍 澤 正 美
理 事	佐々木 博
理 事	※ 齋 藤 隆
理 事	※ 富 澤 正 一
理 事	※ 黒 沼 芳 朗
理 事	※ 阿 部 正 樹
理 事	龍 澤 尚 孝
理 事	※ 石 塚 恭 路

※印は学外者

貸借対照表

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

学校法人 龍澤学館

単位:千円

資 産 の 部	
科 目	R1年度
固定資産	7,381,520
有形固定資産	7,069,895
特定資産	160,000
その他の固定資産	151,625
流動資産	3,686,127
現金預金	3,262,006
その他の流動資産	424,121
資産の部合計	11,067,647
負 債 ・ 純 資 産 の 部	
科 目	R1年度
固定負債	1,004,510
流動負債	1,936,771
未払金	104,963
前受金	935,408
その他の流動負債	896,400
負債の部合計	2,941,281
基本金	11,348,642
翌年度繰越収支差額	△ 3,222,276
純資産の部合計	8,126,366
負債及び純資産の部合計	11,067,647

資金収支計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

学校法人 龍澤学館
単位:千円

科 目	R1年度実績
納付金収入	2,401,885
寄付金補助金収入	519,083
その他の収入	3,655,522
資金収入調整勘定	△ 1,220,877
前年度繰越支払資金	3,458,524
収入の部 合 計	8,814,137
人件費・教育管理経費支出	3,134,841
その他の支出	2,552,988
資金支出調整勘定	△ 135,698
次年度支出調整勘定	3,262,006
支出の部 合 計	8,814,137

令和元年度 財産目録

令和 2年3月31日 現在

学校法人 龍澤学館
単位:千円

資産の部	
区 分	金 額
基本財産	
土地・建物・備品等	7,381,520
運用財産	
現金・預金等	3,686,127
資産の部合計	11,067,647
負債の部	
区 分	金 額
固定負債	
借入金等	1,004,510
流動負債	
未払金・前受金等	1,936,770
負債の部合計	2,941,281
差引の部(資産総額－負債総額)	8,126,366

令和元年度 事業報告書

学校法人龍澤学館

目次

1	学校法人の沿革等	1
2	学校法人の組織図	3
3	設置する学校・学科等	4
4	学生・生徒数の状況	6
5	理事・監事・評議員の概要	7
6	教職員の概要	8
7	事業の概要	9

1 沿革等

[名称] 学校法人龍澤学館

[設立] 昭和28年9月17日 龍澤福美が、盛岡市鷹匠小路に進学研究会を創立。
昭和38年3月14日 学校法人 龍澤学館として、岩手県知事より認可を受ける。

[建学の精神] 独立進取 研鑽努力

[代表者] 理事長 龍澤 正美（平成6年9月就任）

[教職員数] 695名（常勤教職員 293名、非常勤教職員 402名） ※令和2年3月1日現在

[事業内容] 私立学校法人として10校を設置経営している。

[設置・経営] 法人本部 住所 盛岡市大沢川原三丁目4番1号
電話 019-622-6357 F A X 019-623-3339
ホームページアドレス <http://www.tatsuzawa.ac.jp>

盛岡中央高等学校 盛岡市みたけ（全日制課程）1学科
（通信制課程）1学科

盛岡中央高等学校附属中学校 盛岡市みたけ
幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園 盛岡市月が丘

盛岡情報ビジネス専門学校 盛岡市中央通 10学科

専門学校盛岡カレッジオブビジネス 盛岡市大沢川原 8学科

盛岡医療福祉専門学校 盛岡市大沢川原 9学科

専修学校盛岡中央ゼミナール 盛岡市大沢川原 1部門

盛岡公務員法律専門学校 盛岡市中央通 4学科

盛岡ペットワールド専門学校 盛岡市駅前通 5学科

盛岡看護医療大学校 盛岡市中央通 1学科

企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園 盛岡市大沢川原

[関連会社・法人] ※ 人数は30.4.1現在

（株）IBCソフトアルファ（コンピュータソフト開発、機器販売、人材派遣 社員数62名）

（株）エムシーエス生涯学習センター（社会人教育、学習塾、教育ソフト販売 社員数47名）

（株）岩手ビッグブルズ（プロバスケットボールチームの運営、スポーツに関する情報提供サービス 社員数6名）

社会福祉法人盛岡ひまわり会・緑が丘ひまわり保育園・盛南ひまわり保育園（職員数40名）

[沿革]

昭和28年 進学研究会（高校受験・大学受験進学塾）設立。

昭和33年 岩手県知事認可。龍澤予備校（大学受験部・高校受験部）設立。

昭和38年 龍澤高等学校（普通科）創設。

昭和53年 月が丘幼稚園設置、開園。

昭和59年 龍澤予備校創立30周年。新校舎完成移転。盛岡中央ゼミナールと校名改称。

昭和62年 盛岡情報ビジネス専門学校設置、開校。

平成2年 盛岡中央ゼミナールに河合塾サテライト講座開設。

平成4年 龍澤高等学校創立30周年。盛岡中央高等学校と校名改称。

平成8年 専門学校盛岡カレッジオブビジネス開校。

平成9年 盛岡医療福祉専門学校開校。

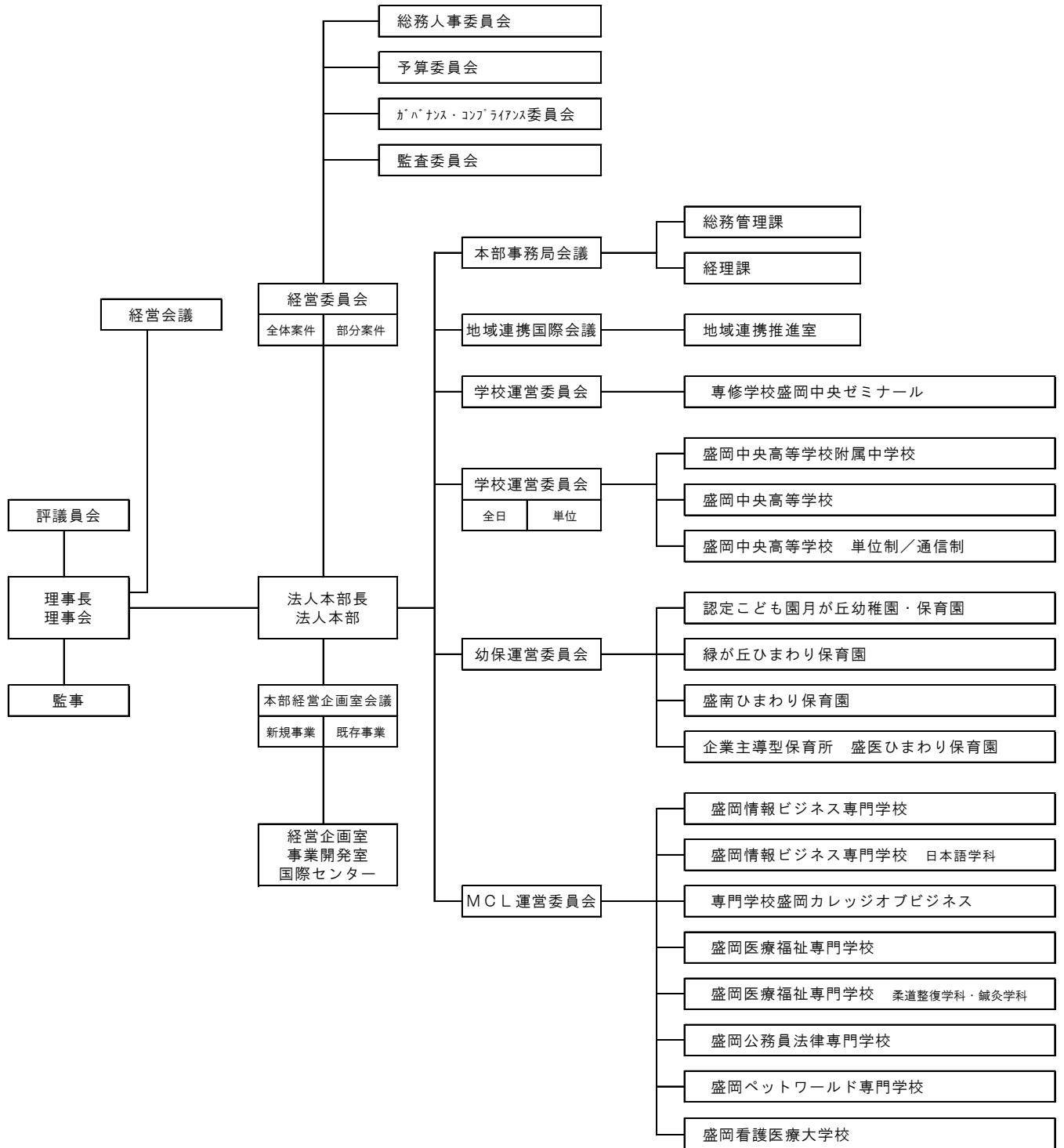
平成11年 （株）エムシーエス生涯学習センター設立。

平成15年 盛岡情報ビジネス専門学校 日本語学科開設。

平成16年 盛岡中央高等学校 単位制（通信制課程）開設。
平成17年 盛岡公務員法律専門学校、盛岡ペットワールド専門学校開校。
平成18年 盛岡医療福祉専門学校 柔道整復学科・鍼灸学科開設。
平成22年 緑が丘ひまわり保育園開園。
平成22年 (株) 岩手スポーツプロモーション設立。
平成25年 緑が丘ひまわり保育園が社会福祉法人に移管。
平成27年 幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園開園。
平成28年 盛岡看護医療大学校開校。
平成29年 社会福祉法人盛南ひまわり保育園開園。
平成30年 盛岡中央高等学校附属中学校開校。
令和 元年 企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園開園。

（令和元年7月1日現在）

2 学校法人龍澤学館グループ 令和元年度組織図



3 設置する学校・学科等

盛岡中央高等学校【校長 千葉 研二】

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ四丁目2番1号 電話 019-641-0458 / FAX 019-641-5533
 [全日制課程] 普通科 定員720名
 [通信制課程] 狭域普通科 定員500名

盛岡中央高等学校附属中学校【校長 坂本 晋】

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ四丁目2番8号 電話 019-641-0505 / FAX 019-641-5534
 定員140名

幼保連携型認定こども園 月が丘幼稚園・保育園【園長 下村 啓司】

〒020-0121 岩手県盛岡市月が丘二丁目7番5号 電話 019-645-1828 / FAX 019-645-1817
 [幼稚園部] 定員 221名
 [保育園部] 定員 29名

盛岡情報ビジネス専門学校【校長 工藤 昌雄】

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目2番17号 電話 019-622-1500 / FAX 019-622-1028
 高度情報工学科 (4年課程 男・女) 定員 80名 (旧: ITエキスパート科)
 総合システム工学科 (3年課程 男・女) 定員 60名 (旧: システム工学科)
 情報システム科 (2年課程 男・女) 定員 80名
 ネットワークセキュリティ科 (2年課程 男・女) 定員 40名 (旧: WEBネットワーク科)
 情報ビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 80名
 会計ビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 40名
 総合デザイン科 (3年課程 男・女) 定員 60名
 デザイン科 (2年課程 男・女) 定員 200名
 日本語学科進学Aコース (2年課程 男・女) 定員 60名
 日本語学科進学Bコース (1.5年課程 男・女) 定員 60名
 応用日本語学科 (1年課程 男・女) 定員 20名
 総定員780名

専門学校盛岡カレッジオブビジネス【校長 工藤 昌雄 (兼務)】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目1番18号 電話 019-651-5001 / FAX 019-651-5015
 ホテルビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 60名
 ブライダルビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 60名
 トラベルビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 60名
 ファッションショップビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 60名
 総合ビジネス科 (2年課程 男・女) 定員 60名
 // (1年課程 男・女) 定員 20名
 国際ビジネス科 (3年課程 男・女) 定員 30名
 // (2年課程 男・女) 定員 20名
 起業マネジメント科 (1年課程 男・女) 定員 40名
 パティシエ科 (1年課程 男・女) 定員 15名
 // (2年課程 男・女) 定員 60名
 総定員485名

盛岡医療福祉専門学校【校長 龍澤 正美（兼務）】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目5番18号 電話 019-624-8600 / FAX 019-624-8601

介護福祉学科	(2年課程 男・女) 定員 160名
医療事務学科	(2年課程 男・女) 定員 160名
こども福祉学科	(3年課程 男・女) 定員 120名
こども未来学科	(2年課程 男・女) 定員 100名
社会福祉学科	(3年課程 男・女) 定員 120名
心理福祉学科	(4年課程 男・女) 定員 160名
スポーツ健康学科	(2年課程 男・女) 定員 80名
小計 900名	

盛岡医療福祉専門学校 柔道整復学科・鍼灸学科

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目3番4号 電話 019-652-1189 / FAX 019-652-1198

柔道整復学科	(3年課程 男・女) 定員 360名
鍼灸学科	(3年課程 男・女) 定員 180名
小計 540名	

医療福祉総定員 1,440名

盛岡公務員法律専門学校【校長 工藤 昌雄（兼務）】

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通二丁目1番20号 電話 019-653-5061 / FAX 019-621-2202

公務員ビジネス科	(2年課程 男・女) 定員 160名
〃	(3年課程 男・女) 定員 30名
公務員専攻科	(1年課程 男・女) 定員 40名
公務員上級学科	(1年課程 男・女) 定員 20名
キャリア総合学科	(2年課程 男・女) 定員 40名
総定員 290名	

盛岡ペットワールド専門学校【校長 工藤 昌雄（兼務）】

〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通10番16号 電話 019-604-1151 / FAX 019-604-1156

動物看護師科	(2年課程 男・女) 定員 60名
ペット美容トリマー科	(2年課程 男・女) 定員 80名
ドッグトレーナー科	(2年課程 男・女) 定員 40名
ペットショップビジネス科	(2年課程 男・女) 定員 40名
ペットマスター科	(3年課程 男・女) 定員 30名
総定員 250名	

専修学校盛岡中央ゼミナール【校長 坂本 晋】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目4番1号 電話 019-622-6355 / FAX 019-623-1888

大学受験科（高校卒生）	定員 250名
-------------	---------

盛岡看護医療大学校【校長 及川 慶一】

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目3番26号 電話 019-626-5300 / FAX 019-626-5301

看護学科	(3年課程 男・女) 定員 120名
------	--------------------

企業主導型保育所 盛医ひまわり保育園【園長 菅原 信子】

〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目5番20号 電話 019-601-2166 / FAX 019-601-2167

0歳児	定員 6名
1歳児	定員 6名
2歳児	定員 6名

（令和元年7月1日現在）

4 学生・生徒数の状況(令和元年5月1日現在)

(人)

学校名	学科名	令和元年度		
		入学定員	収容定員	現 員
盛岡中央高等学校	全日制課程 普通科	240	720	771
	通信制課程 普通科	500	500	515
	小 計	740	1,220	1,286
盛岡中央高等学校附属中学校		70	140	91
月が丘幼稚園・保育園	0歳児	-	9	4
	1歳児	-	10	8
	2歳児	-	10	10
	3歳児	-	61	46
	4歳児	-	80	47
	5歳児	-	80	64
	小 計	-	250	179
盛岡情報ビジネス専門学校	ITエキスパート科	-	-	9
	高度情報工学科	20	80	7
	システム工学科	-	-	14
	総合システム工学科	20	60	43
	情報システム科	40	80	114
	ネットワークセキュリティ科	20	40	28
	情報ビジネス科	40	80	73
	会計ビジネス科	20	40	21
	総合デザイン科	20	60	11
	デザイン科	100	200	87
	日本語学科	80	140	49
	小 計	360	780	456
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	ホテルビジネス科	30	60	38
	ブライダルビジネス科	30	60	50
	トラベルビジネス科	30	60	21
	ファッション・ショップビジネス科	30	60	19
	総合ビジネス科	50	80	22
	国際ビジネス科	20	50	14
	パティシエ科	45	75	10
	起業マネジメント科	40	40	0
	小 計	275	485	174
盛岡医療福祉専門学校	介護福祉学科	80	160	60
	こども福祉学科	40	120	35
	こども未来学科	50	100	67
	医療事務学科	80	160	62
	社会福祉学科	40	120	58
	心理福祉学科	40	160	52
	スポーツ健康学科	40	80	20
	柔道整復学科	120	360	201
	鍼灸学科	60	180	106
	小 計	550	1,440	661
盛岡公務員法律専門学校	公務員専攻科	40	40	40
	公務員ビジネス科	90	190	174
	公務員上級学科	20	20	5
	キャリア総合学科	20	40	17
	小 計	170	290	236
盛岡ペットワールド専門学校	動物看護師科	30	60	43
	ペット美容トリマー科	40	80	27
	ドッグトレーナー科	20	40	18
	ペットショップビジネス科	20	40	21
	ペットマスター科	10	30	25
	小 計	120	250	134
専修学校盛岡中央ゼミナール	大学受験科	250	250	201
	小 計	250	250	201
盛岡看護医療大学校	看護学科	40	120	114
	小 計	40	120	114
合 計		2,575	5,225	3,532

5 理事・監事・評議員の概要

(令和2年3月31日現在)

理事 定員7～9名 現員8名 欠員0 監事 定員2名 現員2名 欠員0

区 分	氏 名	常勤・非常勤	備 考
理事長	龍澤 正美	常勤	学校法人龍澤学館理事長
理 事	佐々木 博	非常勤	学校法人龍澤学館常務理事
理 事	齋 藤 隆	非常勤	会社相談役
理 事	富澤 正一	非常勤	元高等学校校長
理 事	黒沼 芳朗	非常勤	会社顧問
理 事	阿部 正樹	非常勤	会社取締役相談役
理 事	龍澤 尚孝	常勤	学校法人龍澤学館法人本部長
理 事	石塚 恭路	非常勤	取締役頭取
監 事	藤澤 克典	非常勤	司法書士
監 事	及川 邦雄	非常勤	行政書士

評議員 定員15～19名 現員17名 欠員0

区 分	氏 名	常勤・非常勤	備 考
評 議 員	龍澤 正美	常勤	学校法人龍澤学館理事長
評 議 員	山口 光昭	非常勤	会社社長
評 議 員	北田 義四郎	非常勤	会社会長
評 議 員	北川 庄三郎	非常勤	元龍澤学館経理部長
評 議 員	佐々木 博	非常勤	学校法人龍澤学館常務理事
評 議 員	黒沼 芳朗	非常勤	会社顧問
評 議 員	齋 藤 隆	非常勤	会社相談役
評 議 員	龍澤 尚孝	常勤	学校法人龍澤学館法人本部長
評 議 員	富澤 正一	非常勤	元高等学校校長
評 議 員	遠藤 玲二	非常勤	会社社長
評 議 員	村上 貢一	非常勤	市議会議員
評 議 員	阿部 正樹	非常勤	会社取締役相談役
評 議 員	龍澤 英宏	常勤	学校法人龍澤学館研究室室長
評 議 員	高橋 秀実	非常勤	前龍澤学館経理部長
評 議 員	江刺家 永二	常勤	元銀行支店長
評 議 員	小館 喜久雄	常勤	元銀行支店長
評 議 員	石塚 恭路	非常勤	取締役頭取

6 教職員の概要（令和元年5月1日現在）

【専任教員】

(人)

	校長	副校長	教頭 副教頭	教諭	助教諭	養護教諭	講師	計
盛岡中央高等学校 全日制課程	1	1	4	31	4	1	19	61
通信制課程	(兼務)	1	1	4	0	-	3	9
盛岡中央高等学校附属中学校	1	1	1	5	0	1	3	12
合 計	2	3	6	40	4	2	25	82

	園長	副園長	主任保育教諭	保育教諭	計
月が丘幼稚園・保育園	1	1	1	21	24

	校長	副校長	教員	講師	計
盛岡情報ビジネス専門学校	1	1	14	4	20
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	(兼務)	0	6	3	9
盛岡医療福祉専門学校	(兼務)	2	13	25	40
盛岡公務員法律専門学校	(兼務)	1	11	0	12
盛岡ペットワールド専門学校	(兼務)	0	3	3	6
盛岡看護医療大学校	(兼務)	-	6	0	6
専修学校盛岡中央ゼミナール	(兼務)	-	2	5	7
合 計	1	4	55	40	100

【専任職員】

(人)

	事務職員	実習助手	看護師	栄養士	調理師	運転手	計
法人本部事務局	25	-	-	-	-	-	25
盛岡中央高等学校 全日制課程	4	2	-	-	-	-	6
通信制課程	2	0	-	-	-	-	2
盛岡中央高等学校附属中学校	0	0	-	-	-	-	0
月が丘幼稚園・保育園	0	0	1	1	1	1	4
盛岡情報ビジネス専門学校	4	1	-	-	-	-	5
専門学校盛岡カレッジオブビジネス	2	-	-	-	-	-	2
盛岡医療福祉専門学校	15	1	-	-	-	-	16
盛岡公務員法律専門学校	7	-	-	-	-	-	7
盛岡ペットワールド専門学校	3	1	-	-	-	-	4
盛岡看護医療大学校	1	2	-	-	-	-	3
専修学校盛岡中央ゼミナール	4	-	-	-	-	-	4
合 計	67	7	1	1	1	1	78

7 事業の概要

1 事業の概要

少子化、県外流出の進行により県の人口は年間 1 万人のペースで減少しており、地域の状況は厳しさを増すばかりである。これらに起因する課題を解決し、発展に導く担い手を育成することが龍澤学館の大きな目標である。社会の変化に対応して求められる人材を送り出すため、学科・コースの新設・改廃、国際理解教育の充実、IT 環境の整備、外国人留学生の受け入れ増などの事業を実施してきた。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 学科の新增設計画

全国的な歯科衛生士不足の中でも、岩手県は特に足りていないことから、盛岡医療福祉専門学校に歯科衛生士学科を新設するべく準備を進めてきた。中央通の盛岡情報ビジネス専門学校旧校舎を改装し、2019 年 12 月に認可取得、2020 年 4 月 1 日に開講の運びとなった。

(2) 国際理解教育の充実

2019 年 8 月、盛岡中央高校では、15 の国と地域から姉妹校生徒、教員を招き、第 21 回 CHUO 国際教育フォーラムを開催した。SDGs のテーマから、「高齢社会」、「子供の貧困」、「女性の社会進出」を選び、姉妹校生徒と共同研究した結果を発表した。

(3) IT 環境整備

ICT を利用した先進的な教育に取り組むため、文部科学省が提唱する「一人一台」を先取りし、盛岡中央高校では SZ、Z、R コースの令和元年度新入生全員に iPad を支給した。令和 2 年度からは、AI を利用した個別学習ソフトであるアタマプラスを導入することとしている。

(4) 外国人留学生受け入れ強化

少子化による地域の担い手不足解消に貢献するため、専門学校グループでは外国人留学生の募集を強化し、グループ内の日本語学科からのスムーズな誘導に加えて、県外でも営業活動を行なった結果、専門課程の外国人留学生は 40 名を数えるに至った。また、全国の専門学校等 10 校と「地方創生・教育推進ネットワーク」を形成し、留学生に選ばれるための教育・制度の充実に向けて情報収集を行った。

(5) 文部科学省委託事業

盛岡医療福祉専門学校では、「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の2年目の活動が無事終了した。令和2年度は、目的であるスポーツビジネスのマネジメント人材育成カリキュラム作成に向けて最終年度の活動を継続する。

(6) 進学教育

盛岡中央高校においては、推薦入試対策や、入試問題の分析・研究、教員の資質向上を図り、国公立大合格98名と、過去2番目の実績となった。

(7) 専門学校の校名変更

社会の変化に対応し、学生募集における訴求力を高めるため、以下の専門学校の校名を変更するべく準備を進め、2020年4月1日付にて変更した。

盛岡情報ビジネス専門学校→盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

専門学校盛岡カレッジオブビジネス→盛岡外語観光&ブライダル専門学校

盛岡医療福祉専門学校→盛岡医療福祉スポーツ専門学校

(8) 企業主導型保育所の開設

教職員の仕事と子育ての両立に資するため、2019年7月、盛岡医療福祉専門学校のMCL教育会館校舎2階の一部を改装して、盛医ひまわり保育園を開設した。共同利用契約を締結した企業や地域の子どもも受け入れ、地域への貢献も図っている。2020年3月末現在で、従業員枠4名、地域枠8名、合計12名の子どもが在園している。

独立監査人の監査報告書

令和2年6月25日

学校法人龍澤学館

理事会 御中

公認会計士 上村幸雄事務所

東京都中央区

公認会計士 上村 幸雄



監査意見

私たちは、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、昭和53年10月13日付け岩手県告示第1285号に基づき、学校法人龍澤学館の令和1年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む。）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）、収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書について監査を行った。

私たちは、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して、学校法人龍澤学館の令和2年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記がなされている場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類の表示、構成及び内容、並びに計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

学校法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上